

益田市市制施行 70 周年 記念式典を開催！



「持続可能で希望の持てるまちに」 さらなる発展を誓う

益田市は昭和27年8月1日に市制を施行し、令和4年8月1日で70年を迎えました。

これまでの益田市の発展に貢献していただいた先人の方々に感謝の意を表するとともに、これからのさらなる発展につなげられるよう、令和4年11月3日(木・祝)、ふれあいホールみとを会場に益田市市制施行70周年記念式典を開催しました。



式典には、来賓や益田市の自治の発展などに尽力された市政功労者、公募により招待された一般観覧者など約200名が出席し、益田市の新たな門出を祝いました。

式典は、市制施行70周年アンバサダーを務める益田市のご当地アイドル Precious (プレシャス) のステージパフォーマンスで幕を開け、第一部では多くの来賓の皆様からお祝いの言葉をいただいたほか、市政功労者表彰やフォトコンテスト表彰が行われました。また、第二部では、益田市出身で、聖マリアンナ医科大学病院副院長の藤谷茂樹先生による記念講演がオンラインで行われました。

プレアトラクション

市制施行70周年アンバサダー Precious (プレシャス) ステージパフォーマンス

Precious は、令和4年8月に市制施行70周年アンバサダーに就任後、多くの方に「70周年」を知ってもらうためのPR活動に取り組んでいます。

プレアトラクションでは、中世益田の歴史が日本遺産に認定されたことをPRする楽曲「Japan Heritage」、市制施行70周年を記念して作られた楽曲「誰もが好きになれるまち」の2曲を披露しました。



市政功労者表彰

益田市政発展のため多大な貢献をいただいた方々の功績をたたえ表彰する市政功労者表彰では、14名4団体を表彰しました。

※受賞された方のお名前と功績は、8ページをご覧ください。



フォトコンテスト表彰

市制施行70周年記念フォトコンテストには163作品の応募をいただきました。式典では各部門の最優秀作品と特別賞受賞作品について表彰を行いました。



★一般部門 最優秀賞

吉崎 佳慶さん「台風接近・荒ぶる日本海」

★高校生部門 最優秀賞

中田 和心さん「未来に残したいもの」

★中学生部門 最優秀賞

野村 優雛さん「自分らしさ」

★小学生部門 最優秀賞

中田 心花さん「鳥居から覗いた海」

★市長賞

山本 志帆さん「私がお姉ちゃんよ」

★教育長賞

田原 ここなさん「仲よし大集合☆70」



記念講演

演 題：「新型コロナウイルス感染症の知られざる医療現場」
— 900日に及ぶ COVID-19 との苦悩 —

講 師：聖マリアンナ医科大学病院副院長 藤谷 茂樹 氏

新型コロナウイルス感染症の医療現場の最前線で活躍されている藤谷先生の様子は、これまでたびたびテレビで取り上げられ、昨年10月に放送されたNHKスペシャルでは、コロナの重症患者とその家族のケアで奔走される様子が紹介されました。

講演では、新型コロナウイルス感染症の医療現場の緊迫した状況や、実際に病院で行われている対策などについてお話しいただきました。



会場には、フォトコンテスト受賞作品やカラフルな「ますだにおえかきをしよう！！」ぬり絵が展示されました



全部で799枚の
ぬり絵が集まりました！
ありがとうございました！